

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和6年度)

(宛先)岡崎市長

令和7年4月10日

団体名 りぶら日本語サロン代表者 宇野悦次構成員 27 人(※令和7年4月1日時点の構成員数)

団体の目的: 団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

・日本語を母語としない人のための日本語学習を行うことにより、快適な生活環境の実現と互いの文化の相互理解と共有化による国際交流の促進に寄与する。

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。
 なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
令和6年4月4日 ～令和7年3月27 日 毎週日曜日及び木 曜日 (日本語授業)	LICC 研修室 及びりぶら会議 室	岡崎市及びその近隣 に在住する日本語を 母語としない人(外 国人)	延総数 1740人 1講座平均 日曜27人 木曜9人	日本語を母語としない人に対する日本語学習 の支援 (日本語授業) 総講座数 日曜48回 木曜48回

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。＜ex.自然環境＞

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

- ・生徒の日本語レベルは着実に上がっており、より高いレベルの学習に努力した。
- ・日本語を学習することにより生活習慣にも慣れてきた。
- ・日本語能力試験にも多数の生徒がチャレンジして合格した。

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← (5) 4 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

- ・在住する外国人が少しでも日本語及び日本の生活習慣を理解し、相互に信頼関係を醸成することは、多文化共生社会を実現するうえで極めて重要なことであると考えます。

裏面の自己診断チェックリストもご記入ください。